

少年は町の未来 夢に向かって力をつけよう ～少年教育推進目標～

湧ゆう湧くわく体験塾～パークゴルフ体験～

6月15日、わくわく体験塾で芭露パークゴルフ場に行ってきました。運動をするにはちょうど良い絶好の天候の下、18名の塾生がパークゴルフを楽しみました。湧別パークゴルフ協会の本田勝樹会長をはじめ6名の会員による指導でパークゴルフのルールやスティックの持ち方、ホールのねらい方などを教わり、徐々に距離感や打ち方のコツをつかんでいきました。4年生の中には、初めてパークゴルフを体験した子もいましたが、5・6年生とチームを組んで対抗戦を行いました。チームの中で作戦を考えて、打つ順番を変えたり仲間を応援したりするなど子どもたちが自ら工夫したり、相互に交流したりする場面が多くみられました。学校も学年も違うチームも和気あいあいとパークゴルフを楽しみました。

体験塾ではこれからも、地域の皆様とのつながりを大切にしながら、塾生同士の交流の輪を広げる活動を進めていきます。地域の皆様に指導をお願いすることがあるかもしれませんが、どうぞよろしくお願いします。



明日の元気は、きょうのスポーツから みんなで体を動かし楽しもう ～スポーツ振興の推進目標～

第39回サロマ湖100kmウルトラマラソンが開催されました

6月30日第39回サロマ湖100kmウルトラマラソンが開催され、総勢3,501名のランナーが参加しました。

日中の気温が30度に迫る中、力強く走るランナーに対し沿道から大きな声援が聞こえてきました。また、給水所ではボランティアスタッフの皆さんが一丸となりランナーをサポートする姿がありました。

ボランティアの皆さんをはじめ、各学校の先生や生徒の皆さん、各団体や企業から参加された皆さん、そして沿道からの温かい応援を下さった皆さんなど、多くのサポートに支えられながら、今年も本大会を無事終了することができました。

本大会の運営にあたり、お手伝い頂いたボランティアの皆さん、そして、ご協力頂きました関係者の皆さんに感謝とお礼を申し上げます。



高齢者は町の知恵袋 豊かな経験を地域で生かそう ～高齢者教育推進目標～

“バイオマス発電所” チューリップ生きがい大学日帰り研修会



チューリップ生きがい大学では6月18日に日帰り研修会を実施しました。今年は58名の学生がバス2台に分乗して「株紋別バイオマス発電」の施設見学などに行ってきました。

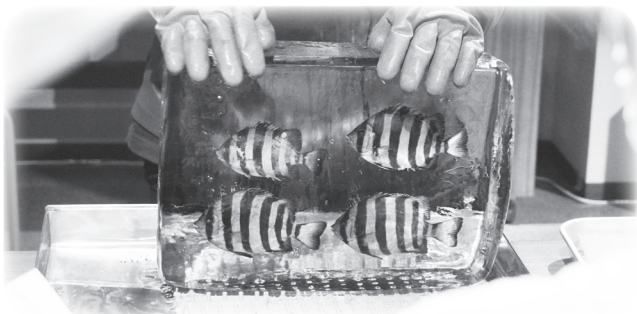
まずは定番のカニの爪のオブジェの前で記念撮影。その後バイオマス発電所へ向かいました。高い煙突とそこから出ている水蒸気が目印です。バスの中で発電所の説明DVDを視聴し、その後バスに乗ったまま施設内を移動し、説明を受けました。木材チップを積んだ大型車が行きかうため一般の方の見学はできませんが、今回は特別に許可をいただき、「バイオマス」の意味や「カーボンニュートラル」など現代の課題について学びました。

お昼は、先日の将棋の名人戦で話題になった「勝負飯」、政寿司の海鮮丼（生ものが苦手な方は天井）を食べました。希望者は小林食品のかまぼこをおみやげに購入しました。

午後から「アザラシランド」と「流水科学センター」に向かいました。「アザラシランド」ではもぐもぐタイムの時に係員の方の説明を聞きながら、アザラシのかわいらしい姿を見ることができ、「アザラシ、みんな寄ってきてすごくかわいかった。」「帰るときにはバイバイもしてくれてめんこいね。」といった声が聞かれました。



「流水科学館」では-20℃体験やドームシアターの映像上映、氷の標本づくりの説明などがありました。ここでは「ドームシアターは初めて見たけれどすごい迫力で楽しかった。」「氷の標本、すごくきれいだった。」などの感想が参加者から聞こえてきました。



芸術・文化は未来を生きるヒント 創造力と豊かな心を育てよう

中学生芸術鑑賞事業「神保彰ワンマンオーケストラ」が開催されました

6月6日文化センターさざ波にて神保彰さんによる「ワンマンオーケストラ」が開催され、ゆうべつ学園（後期課程）、上湧別中学校、芭露学園（後期課程）から全161名が参加しました。また、一般販売も行われ総勢200名を超える参加となり、会場は大いに盛り上がっていました。

内容は主に中学生、各学園の後期課程の生徒を対象としたセットリストを神保彰さんが編成。通常のドラマセットの他、あらかじめパットに音を仕込んでおり、叩くことで指定した音を鳴らせ、様々な音を組み合わせ一人オーケストラとして、音楽を奏でていました。会場からは音の組み合わせに対して歓声が聞こえてきました。

演奏の他にも音が出る仕組みなど、わかりやすく生徒に説明してくださりあっという間の1時間でした。

**リレーエッセイ****スポーツ推進委員のある一日 第163回**

先日、友達と旅行に行き、雲海を見ようと朝早く津別峠の展望台へ行ってきました。天候が悪く見ることができなかったのも、みんなでラジオ体操をしました。みんなでラジオ体操をしていた時に、「ラジオ体操って第3まであるって知ってる？」と話すと、みんな「知らない」と話したため、やってみることに。やってみると、アップテンポでハードなため、うまくできず、朝から爆笑しながらラジオ体操第3をしました。

今回、このことをここに書いていて、ふと「なぜ第3まであるのに、普及しなかったのか？」知りたくなり、調べてみました。ラジオ体操第3は、1950年代に制定され、ラジオで地域に流れましたが、動作が複雑で音声だけでは伝わりにくかったため、また戦後の混乱も影響し、普及しなかったそうです。今回調べてみて、「ラジオ体操第3のことを知っていて、やったことがある人は、どれくらいいるのかな？」と思った1日でした。

スポーツ推進委員 白田 ゆかり

図書館は町民の憩いの場 みんなで学び楽しもう ～図書館活動推進目標～

7月26日（金）～8月25日（日） 小学生向け「本を読んでファイターズを応援しよう！」キャンペーン開催のお知らせ

今年も、北海道と日本ハム株式会社が取り組む「北海道日本ハムファイターズ読書促進全道キャンペーン」に両図書館が参加しています。

夏休み前に学校から配布されたチラシをご確認ください。

夏休みは、図書館にも来てください！

- 対象 象：町内小学生
- 申込期間：7月31日（水）まで
- 実施期間：7月26日（金）～8月25日（日）まで
- 参加館名：中湧別図書館
湧別図書館
- プログラム完了者

- ・「ファイターズロゴ入りシャープペンシル」が当たる。（全員）
- ・「エスコンフィールドHOKKAIDO 公式戦チケット」が当たる。
（こちらは希望者対象です。希望者が多い場合は抽選となります。）



暑い夏こそ、湧別図書館で過ごしましょう。

ここ数年、夏季の猛暑が目立ちます。

湧別図書館は冷房設備があるので、暑い夏でも快適に読書を楽しむことができます。

そして、湧別図書館は、調べものに特化した図書館です。

子どもから大人まで、夏休みの課題、郷土学習やご先祖探しに役立ちます。

暑い夏こそ、湧別図書館で過ごしましょう。



中湧別図書館「読み聞かせ会」のお知らせ

【日 時】 8月3日（土） 13：30～14：00

【場 所】 中湧別図書館 おはなしコーナー

8月の図書館休館日

8月5日（月）、12日（月）、19日（月）、26日（月）

*図書館休館日に返却される方は、玄関にあるブックポストをご利用ください。

【開館時間】 10：00～18：00

【貸出冊数】 ひとり何冊でも借りられます。 【貸出期間】 2週間

【連絡先】 中湧別図書館 電話 2-3150 湧別図書館 電話 5-3122
lib-n@town.yubetsu.lg.jp lib-y@town.yubetsu.lg.jp

博物館シリーズ

— 屯田兵 —

ゴールデンカムイ

主役「杉元佐一」は湧別屯田兵？

博物館だより

—ふるさと館 JRY・郷土館—

【174号】

「ゴールデンカムイ」をご存じですか？

「ゴールデンカムイ」は集英社の「週刊ヤングジャンプ」で2014～2022年に連載された漫画です。大変人気のある作品で2018年にはテレビアニメ、2024年1月には実写映画が公開されました。

さて、この作者は野田サトルさん。主役の名は「杉元佐一」。これは、作者の曾祖父「杉本佐一」が名前の由来で、「本」を「元」に変えています。

その「杉本佐一」さんは、実は湧別屯田兵の一人だったのでした。



中央の表紙を飾っているのが「杉元佐一」
「ゴールデンカムイ」は中湧別図書館に所蔵しています



湧別屯田兵「杉本佐一」

屯田兵番号155「杉本佐一」さんは、岐阜県出身、家族5人とともに1897年（明治30年）に4の3に入植しました。1900年（明治33年）に一等卒に昇格、1903年（明治36年）に現役満期で後備役に編入。

1904年（明治37年）には日露戦争に従軍。歩兵第27連隊乗馬隊に所属、旅順攻囲戦、奉天会戦に参加、友軍への援助と偵察に実力を発揮し、上等兵へ昇格。勲八等と功七等金鵄勲章を授与されました。

こうした功績が「杉元佐一」の誕生の基礎になったことでしょう。肖像画がふるさと館 JRY に展示されていますので、ぜひ一度見に来てください。

情報提供：集英社、三品彰さん

【出典：ヤングジャンプコミックス『ゴールデンカムイ公式ファンブック』探究者たちの記録 集英社 2020】

北海道考古学会でシブノツナイ竪穴住居群を紹介

5月31日に開催された北海道考古学会研究大会で、現在町が行っている北海道指定史跡「シブノツナイ竪穴住居跡」の発掘調査の状況について当館の林学芸員が報告を行いました。

全道の専門家に情報を提供するとともに、現在注目されつつある「窪みで残る竪穴住居群」について各地の研究者から意見や情報が寄せられました。

この機会に深まった専門家のネットワークを活用し、今後の調査研究を進めていきます。



会場の様子（北海道大学内）

湧別町生涯学習情報「湧く湧く」 2024年7月号 No.174

編集発行…湧別町教育委員会 社会教育課 〒099-6404 北海道紋別郡湧別町栄町219-1
<https://www.town.yubetsu.lg.jp/>

印刷…林印刷所（中湧別北町）発行…令和6年7月25日

記事へのお問合せは下記へ

*社会教育課社会教育グループ…電話：01586-5-3132 FAX：01586-5-3710
メール：shakyo@town.yubetsu.lg.jp

*湧別図書館……………電話：01586-5-3122 FAX：01586-5-3256

*中湧別図書館……………電話：01586-2-3150 FAX：01586-2-3190

*ふるさと館 JRY……………電話：01586-2-3000 FAX：01586-2-3200